

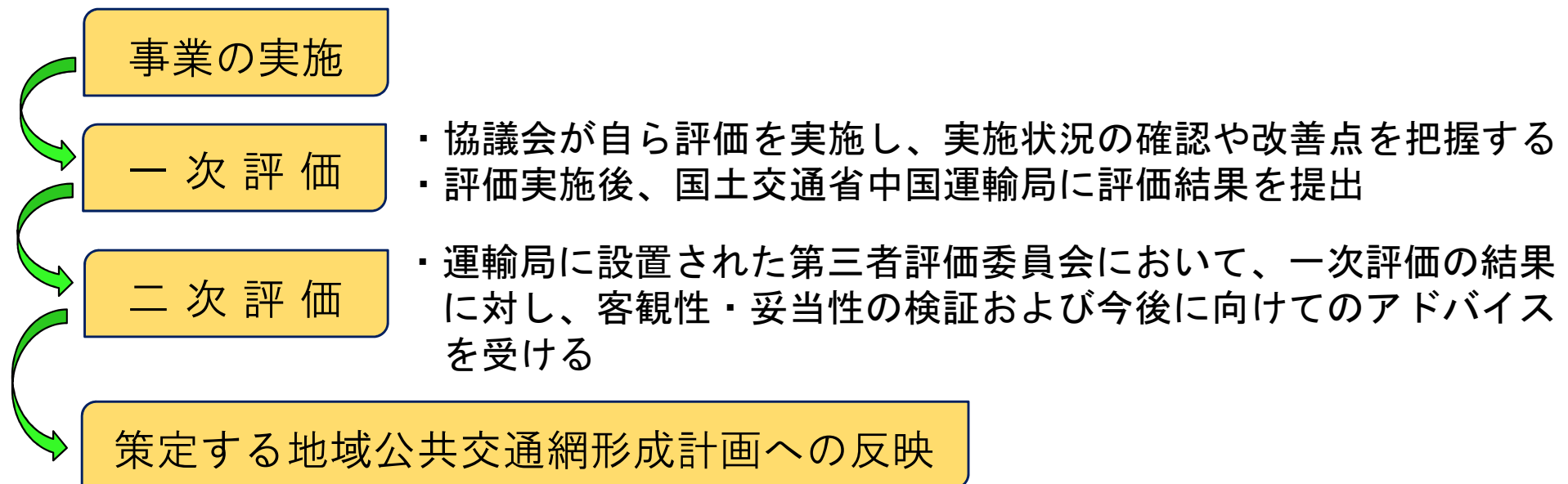
事業評価の概要

- ・府中町地域公共交通網形成計画の策定は、国からの支援（『地域公共交通確保維持改善事業』）を受けて実施している。
- ・『地域公共交通確保維持改善事業』による支援を受けた事業は、毎年度、協議会において事業の実施状況の確認、評価を行い、国土交通省中国運輸局へ評価の結果を報告することとなっている。

事業評価の目的

実施している調査が適切に地域公共交通網形成計画の策定に結びつくものとなっているかという観点で評価を行い、評価結果を計画策定に反映させる。

事業評価の流れ



地域公共交通調査等事業・事業評価(地域公共交通網形成計画策定に係る事業)

平成30年12月6日

協議会名：府中町公共交通協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③地域公共交通網形成計画の策定に向けた方針
【事業内容】 ① 地域データの収集分析および現状整理 ② 公共交通の実態調査(アンケート調査) ③ 府中町地域公共交通網形成計画の策定 ④ 府中町公共交通協議会の開催(4回) 【結果概要】 ① 基礎的データの整理を行い、地域の公共交通の状況を整理した。 ② 公共交通の利用実態や意見・要望等を把握するため、住民アンケートおよびつばきバス利用者へのアンケートを作成した。1月にアンケートの配布・回収を行い、その結果を基に移動の需要やニーズおよび公共交通を利用することの敷居(抵抗感)を把握する。 ③④ 現況調査やアンケートの結果を踏まえ、地域に適した交通モード、ルート、ダイヤ等について検討し、協議会に諮るための計画素案を作成し、協議会での検討を経て、地域公共交通網形成計画として最終的にとりまとめる予定である。	B 当初の計画では、今年度末までに計画策定を完了する予定であったが、7月に発生した西日本豪雨災害の影響により作業が5ヶ月間中断し、進捗に大幅な遅れが生じている。 平成30年度中は、①②を完了し③の基本方針、目標の設定、公共交通ネットワークの再編方針の案までをまとめ、計画策定の完了は平成31年8月末に変更する。	計画は、主に以下の3点を主眼とし策定する予定である。 ●安心して暮らしていけるまち ・「おでかけ」を公的に維持する必要性 ・地形や高齢化を考慮した公共交通サービスのあり方 ・暮らしを支える「おでかけ」の具体策 ●「おでかけ」が楽しい魅力的なまち ・誰をどこにどのように運ぶのか ・分かりやすく使いやすいサービス ・賑わいがあり行きやすい拠点づくり ●みんなで支え、持続可能なサービス ・事業者間の連携や協調による事業の効率化 ・公共交通サービスの維持に向けた利用促進 ・適正な負担割合

事業実施の適切性

A: 事業が計画どおりに適切に実施された

B: 事業が計画どおりに実施されていない点があった(一部実施されない見込み)

C: 事業が計画どおりに実施されなかった(実施されない見込み)